

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4 年 2 月 25 日

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | 工夫している点・課題や改善すべき点 |
|------------------|----|--|----|---------------|-----|---|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 4 | | | 最低限の活動できるスペースは確保しており、状態に合わせて活動しています。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | | 2 | 2 | 法令に基づき適切に配置していますが、利用日により、特性に応じて増員も必要だと考えています。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 4 | | | 基本的にはバリアフリー仕様になっています。 |
| 業務 改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | 1 | 3 | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 3 | 1 | | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 4 | | | 実施しています。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | 2 | 2 | 第三者による外部評価は受審しておりません |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 1 | 3 | | 職員の各種外部研修への参加を促進しています。法人内研修はコロナ感染拡大防止の為中止しています。 |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 3 | 1 | | 保護者や学校との情報共有を通じて、適切な分析を行い、計画に反映しています。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 2 | 2 | | 共通のアセスメントツールを利用しています。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 4 | | | 職員全員で取り組んでいます。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 3 | 1 | | 各所から情報を取り入れ、プログラムが固定化しないように努めています。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 2 | 2 | | 長期休暇は、普段できない内容を取り入れ支援しています。 |

| | | | | | | |
|-----------|----|---|---|---|---|--|
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 2 | 2 | | 発達の状況や特性に合わせ、個別活動や集団活動への取り組みを、計画に記載しています。 |
| 適切な支援の提供 | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 3 | 1 | | 支援開始前にスタッフを招集、活動の確認や連絡事項の共有を行っています。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 3 | 1 | | 必要に応じて実施しています。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 4 | | | 支援記録について、気になる点は職員間で改善策を考えるように努めています。 |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 4 | | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている | 1 | 2 | 1 | 今後は、ガイドラインの基本活動を参考に支援展開を行っていきたいと考えています。 |
| 関係機関や保護者と | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 3 | 1 | | |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | 4 | | | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 2 | 1 | 1 | 現在、対象となる子供の受入れはありませんが、常時看護師が勤務しており、連絡体制の確保はされています。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 2 | | 2 | 児童発達支援事業所との間で情報共有を行っています。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 2 | 1 | 1 | 必要に応じ、移行先への情報提供を行っています。 |

| | | | | | | | |
|--|----|--|---|---|---|--|--|
| の 連 携 | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | | 2 | 2 | 研修等への参加を促進していますが、実施できていません。 | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | | | 4 | 発達の状況や、特性により交流は難しい状況です。 | |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | | 2 | 2 | コロナ感染拡大防止の為、実施できていません。 | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 2 | | 2 | 学校、家庭、事業所が連携し、情報共有または共通理解に努めています。 | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 2 | | 2 | 家庭でも支援していただきたい事を、送迎時または連絡帳を通して、適宜フィードバックを行っています。 | |
| 保 護 者 へ の 説 明 責 任 等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | | 4 | | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | | 4 | | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | | 2 | 2 | コロナ感染拡大防止の為、親交流会は実施していません。 今後は、感染状況をみながら少人数での開催を検討していきます。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | | 4 | | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 2 | | 2 | | 活動の様子を、写真を掲載し定期的にお知らせしています。長期休暇には、事前に行事予定表を配布しています。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | | 4 | | | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | | 4 | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | | 2 | 2 | 今年度は、コロナ感染拡大防止の為、実施していません。 |

| | | | | | |
|---------|----|--|---|---|---|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 2 | 2 | マニュアルの整備は整い、職員間で周知されています。 今後は、マニュアルを玄関に設置するなどして、保護者への周知に努めていきます。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 4 | | 事業所全体で、年に2回避難訓練を実施しています。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 1 | 3 | 虐待防止チェックリストを作成し、職員の意識を高め、支援の振り返りができるように努めます。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 4 | | 特性上、可能性が高い場合、職員間で話し合い、保護者への説明を行います。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 1 | 3 | 必要に応じて対応させていただきます。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 4 | | ヒヤリハットについては職員間で共有し、報告後に具体的な対策を立てています。 |